



ELASTOSIL[®] M8520

型取り用 RTV-2シリコーンゴム

<特徴>

ELASTOSIL[®] M8520 は、室温下で硬化する2液タイプ縮合反応硬化型液状シリコーンゴムです。

- 硬化後の外観が半透明であるためシリコーン母型の内部状態が目視で確認できる [スケルトンタイプ]
- 顔料ペースト等により着色可能
- 低硬度 (Shore A 約 27)
- 高引裂強度
- 高い柔軟性及び弾力性
- 硬化後の物性の劣化が少ない

<用途>

- ポリエステル、ポリウレタン、石膏、ワックス等の注型材料によるテーパのある複雑な形状の型取り用シリコーンゴム型母材
- 耐候性及び柔軟性が必要なゴム製品の素材 (各種造形物・マネキンの皮膚など)

<一般物性>

硬化前(代表値)

	試験方法	単位	
外観			半透明
粘度(23)	Brookfield 回転粘度計	mPas	25,000
密度(23)		g/cm ³	1.11

硬化後(代表値) 23 ・相対湿度 50%雰囲気下、72 時間後

外観			半透明
密度	DIN 53479A, ISO2781	g/cm ³	1.10
硬さ	DIN53505, ISO868	Shore A	27
引張強さ	DIN53504-S1, ISO37	N/mm ²	3.3
破断時伸び	DIN53504-S1, ISO37	%	270
引裂強さ	ASTM D 624B	N/mm	20
線熱膨張係数		m/(mK)	2 × 10 ⁻⁴
線収縮率		%	約 0.5

加工時特性(代表値)

標準硬化条件	23 ・相対湿度 50%
混合比	M8520 : CATALYST T40 = 100:4
混合後粘度	22,000[mPas]
作業可能時間	50 ~ 30 分 (M8520: CAT.T40 = 100:3 ~ 4)
硬化時間(厚み1cm)	18 ~ 12 時間 (M8520 : CAT.T40 = 100: 3 ~ 4)

*1)作業可能時間は、硬化剤を添加して攪拌を開始してから、シリコーンゴムを注入終了するまでの目安となる時間のことです。

*2)硬化時間は、シリコーンゴムを注入してから脱型可能になるまでの目安となる時間のことです。

*3)作業可能時間と硬化時間は、高温・多湿下では短く、低温乾燥下では長くなる傾向があります。

<加工方法(一般)>

- (1)「予備攪拌」… 充填材が沈殿していることがあるのでよく攪拌する。
- (2)「計量」… 主剤を天秤で容器に量り取り、所定量の硬化剤を添加する。
このとき、使用する容器の容積は主剤の5倍以上にする。
- (3)「混合攪拌」… 両液が均一になるまで良く攪拌する。
できれば、攪拌機(ミキサー)を用いることが望ましい。
- (4)「予備脱泡」… 真空ポンプとデシケーターを用いて、脱泡する。普通は5～10分間。
長時間脱泡すると硬化に必要な成分が揮発し、硬化が遅くなったり不十分になることがある。
- (5)「注入」… 空気を巻き込まないように注意しながら注入する。
- (6)「硬化・脱型」… 室温にて硬化後脱型する。

<貯蔵安定性>

直射日光、雨水の当たらない5～30℃の冷暗所保管、未開封の条件の下、製造後約12ヶ月を目安としています。

<荷姿>

- ・ 1KG ペール缶 × 10缶 + 40G ガラスボトル × 10本(硬化剤 CATALYST T40)
- ・ 20KG ペール缶 + 40G ガラスボトル × 20本(硬化剤 CATALYST T40)

<安全性について>

CATALYST T40 は成分として有機スズ化合物を含有する引火性液体(引火点 30℃以上)です。適切な作業環境の下で保護具を着用し作業して下さい。
医療用途、食品に接触する用途には使用できません。
包括的な規定については、製品データシートに記載されておりますので、ご必要な場合は、弊社にお問い合わせください。

<危険物等級>

ELASTOSIL[®]M8520 消防法 指定可燃物(可燃性液体類)
CATALYST T40 消防法 第4類第2石油類

当社の製品は、一般工業向けに開発・製造されたものです。医療用途、その他特殊な用途に使用される場合には、貴社にて事前に御試験の後、当該用途での安全性を御確認のうえ御使用下さい。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないで下さい。

「ELASTOSIL」、「エラストジル」はワッカーケミー社の登録商標です。

- ・この製品をご使用になる前に、製品安全データシート(MSDS)を必ずお読み下さい。
- ・このリーフレットに記載されているデータは、弊社の試験方法による実測値の一例であり、規格値ではありません。記載データは製品改良、仕様変更などのために、断りなく変更する場合があります。
- ・ご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するか必ずご確認下さい。なお、本文中で御紹介する用途は、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。

2004.6.7/0305/ 0304/0112 /0008/KT(04)/ELD-RTV M8520

旭化成ワッカーシリコン株式会社

東京本社 東京都千代田区神田錦町 2-9
コンフォール安田ビル 9F
tel. 03-5283-8850 fax. 03-3291-2282

大阪営業所 大阪府大阪市西区阿波座 1-4-4
野村不動産四ツ橋ビル 8F
tel. 06-6535-8515 fax. 06-6531-2561